

このコーナーでは、九州一の安心安全なまちづくりを目指す小林市で活躍する人やその活動など、協働のまちづくりに関する情報を提供します。



官民協働危機管理クラウドシステム
災害時の情報を共有し迅速な
対応を検証



官民協働危機管理クラウドシステムは、平成 25 年度で完成し、安心安全なまちづくりに生かされます

11 月 7 日、小林市と独立行政法人防災科学研究所が連携して開発している官民協働危機管理クラウドシステムの実証実験が行われました。このシステムは、災害時に迅速な対応を行うために、環霧島地域の関係機関の情報を共有できるもの。この日は、新燃岳の噴火を想定し、被害状況や気象情報などをシステムがパソコンに表示。本番さながらの訓練とともに、分かりやすい情報が表示されていました。



市民活動支援センターからのお知らせ
NPO などまちづくりに携わる活動を支援
「NPO 等の財政・運営基盤強化事業」を活用ください



この事業では、NPO などの財政・運営基盤の強化を目的として、支援メニューを実施し、活動の活発化のため、NPO などのネットワーク化を目指すものです。

具体的には防災や食育といった、さまざまな分野にわたる講座や研修などのメニューを行います。毎回多くの知識と経験を持った講師陣の話が聞けます。ぜひ活用ください。



小林市こころの健康サポーター
市民のこころの健康に寄与
精神保健福祉全国大会で表彰

10 月 26 日、精神保健福祉全国大会が宮崎市民文化ホールで行われました。大会では、地域の絆や災害時のこころのケアをテーマに、シンポジウムや功労者表彰を実施。本市から、こころの健康を支援する「小林市こころの健康サポーター」が、宮崎県精神保健福祉連絡協議会長表彰を受けました。代表の有木ひとみさんは「傾聴活動などを通して、自殺者が減少し、皆さんの役に立てばと思っています」と話していました。



サポーターのメンバーは 39 人。傾聴活動を中心に、市民のこころの健康づくりの支援を行っています

◆ 対象者
市民活動団体など（NPO 法人、地域組織、各種個人や団体）またはこれから活動を始めようとしている人

※詳細はお問い合わせください。

◆ 申込・問

・小林市市民活動支援センター
（事業主体主：NPO 法人エコワールドきりしま）

TEL 27 - 3177 メール purumeria_mina@ecokiri.or.jp

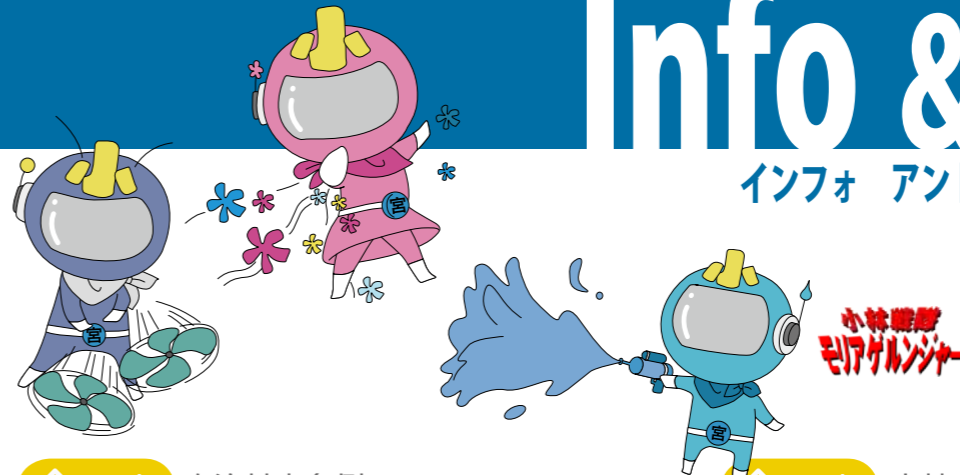
協働により「九州一 安心安全なまち 小林市」を目指して

小林健康
ボランティア
も応援。

こばやし協働

Info & News

インフォ アンド ニュース



このイラストは、小林高校 1 年生 海蔵楓寧さんが小林市の活性化を願い作成したものです。市の自然（花、星、水、螢）がモチーフになっています。



自治基本条例
共にまちづくりを考えよう
自治基本条例（案）意見募集



小林市民防災リーダー養成講習会
あらゆる災害に対応できる
地域のリーダーを育成



意見募集の詳細は、12 月 3 日付の朝刊のチラシをご覧ください

今後のまちづくりを進めるための手引き「小林市自治基本条例（案）」を作りました。これは、私たち市民、議会と市役所の役割をはっきりと示し、みんなでまちづくりを進めるための基本となるもの。小林市に関わる全ての人を対象です。そこで、この条例案に対して皆さんの意見を募集します。期間は 12 月 3 日から 1 月 11 日まで。資料は市役所 1 階総合案内窓口、2 階総務課、須木庁舎、野尻庁舎、西小林出張所、紙屋出張所、市立図書館のほかホームページでも見ることができます。●問：総合政策課 TEL 23 - 0456

11 月 18 日、市職員を対象に小林市民防災リーダー養成講習会がありました。受講したのは、市長、副市長、教育長をはじめ市職員 70 人。受講者は、市の防災への取り組み状況、気象の仕組み、救急法や防災士の指導によるロープワークなど防災に関する基礎知識を学びました。その後、受講者は認定証とバッジが交付され、防災リーダーとしての自覚を新たにしていました。肥後市長は「今日の講習を機に、あらゆる災害に対応できる地域や行政におけるリーダーとして活躍してほしい」と話していました。



市民の皆さんを対象とした防災リーダー養成講習会は、来年 2 月に開催する予定です